令和7年度　飯塚市事務事業評価シート

令和　8　年　6　月　15　日　作成

事務事業名	ごみネット補助金交付事業	事務事業No.	723 - 5

1．基本情報

担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名
市民環境部	環境整備課	環境推進係	主事	野中　あゆみ	課長	尾形　彰貞

施策体系				
総合計画	政　策	7	自然環境
	施　策	2	快適な生活環境づくり
	基本事業	3	環境美化活動の推進
その他の計画	個別計画		第3次飯塚市環境基本計画

根拠法令・条例・要綱等	飯塚市環境基本条例、飯塚市ごみネット等購入費補助金交付要綱				
事業開始年度	平成28年	事業終了年度	－	事務事業類型	ソフト事業
実施手法	補助金・負担金交付	補助金等の支給	補助金等あり	実施計画期間	－

2．事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）

概要		市民がごみネットを購入する際に、その費用の一部に対して補助金を交付することにより、地域のごみ集積所のごみの散乱を防ぎ、住環境の美化に努め、地域の環境保全に寄与する。
対象	働きかける相手・もの	市民
手段	方法・働きかけ（活動指標）	購入費に応じた補助金を交付
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	カラス等からごみを防御し、散乱ごみを減少させる

3．活動指標（決算成果説明書と連動）

指標名	単位	指標の説明（算式等）	前年度実績	本年度実績	次年度見込
補助金交付件数	件	補助金交付件数	38	22	18

4．成果指標（決算成果説明書と連動）

					前年度実績	本年度実績	次年度見込
指標	ごみネット購入枚数	単位	達成目標値				
		枚	30	目標値	30	30	30
説明	補助金を利用し、ごみネットを購入した枚数	方向性	達成目標年度	実　績	38	22	
		増加	毎年度				
指標		単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込
				目標値			
説明		方向性	達成目標年度	実　績			
指標		単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込
				目標値			
説明		方向性	達成目標年度	実　績			

5．事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）

経費区分	一般会計	経常経費	特別会計	－

予算科目・事業	会計	1	一般会計	款	4	衛生費	項	1	保険衛生費	目	5	環境対策費
	大	99	その他の環境対策費	中	26	ごみネット補助金交付事業費【政策】			他	0	事業	

	(R2以降)		前年度実績（千円）			本年度実績（千円）			増減理由（10%以上の場合）	次年度予算（千円）		
投入人員（当該事務事業に対して１年間に投入した人員）	正職員		0.06	人	489	0.14	人	1,189		0.15	人	1,274
	任期付職員(保育士)		0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	任期付職員(子ども家庭支援員)		0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	任期付職員(CW・水質)		0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	再任用フル		0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	再任用短		0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	会計年度	1級フル	0.10	人	368	0.00	人	0		0.00	人	0
		1級パート	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
		2級パート	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
人件費計（A）			857			1,189			投入人員増のため	1,274		
事業費	直接事業費（B）		90			49				78		
	総事業費（A＋B）		947			1,238				1,352		
直接事業費のうち の主な歳出内訳	負担金補助及び交付金		91			50				78		
	－		0			0				0		
財源内訳	使用料・手数料（受益者負担分）		0			0				0		
	国・県支出金		0			0				0		
	市債		0			0				0		
	一般財源		856			1,189				1,274		
	その他（環境保全推進基金）		91			49				78		

6．事務事業の事後評価★

評価視点	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性評価	高い	環境基本条例の基本理念実現のための全市民対象事業であるため。
効率性評価	高い	ごみネット等の購入補助における代替事業はなく、補助額も適正であるため。
有効性評価	高い	第3次飯塚市環境基本計画に掲げる基本目標「うるおいのある快適な生活環境をつくる」に貢献しており、住環境保全に有効であるため。

7．前年度評価時の計画と実績

前年度評価★		前年度記載した改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
評価区分	成果の方向性	次年度以降にコスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	市報や市ホームページだけではなく、より多くの媒体における広報の実施
一次評価	現状維持		
	コストの方向性	次年度以降にコスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	-
	現状維持		

前年度改善策に対する実績　★　　※上記の改善策に対して今年度に実施できたこと、などを記入

市報や市ホームページにてごみネット等補助金交付事業について広報を行ったが、他の媒体の活用には至らなかった。

8．今年度評価における成果と課題（決算成果説明書と連動）★

【成果】　市報や市ホームページ等にて広報を行い、22件の交付申請を得た。

【課題】　前年度から交付件数が減少しているため本事業の更なる周知が必要である。また、交付してから3年以内は再度申請が出来ない等の注意事項を、窓口・電話で市民に対してわかりやすく説明していく必要がある。

9.今後の事業の方向性と改善策

成果の方向性	【理由】
現状維持	今年度の補助金交付枚数は22枚であり、目標値に足していない。令和4年度から令和7年度の間に交付した申請者を地区別でみると、全交付者数101名のうち、飯塚地区が90名となっている。このことから、飯塚地区以外での申請者を増やすために各支所等と協力して周知を行い、、現状の体制を維持していく。
コスト投入の方向性	【理由】
現状維持	事業の目的は、カラス等による地域のごみの散乱を防ぎ、住環境の美化に努めるものである。今後も継続して事業を実施するため、コスト投入についても現状維持とする。

次年度以降の改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
コスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	市報や市ホームページだけではなく、LINEやイベントでの周知等の多くの媒体における広報の実施
コスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	-

2次評価（最終評価）	**成果の方向性**	ステーション方式によりごみ収集を行う場合においては、ごみネットの設置は、地域のごみ集積所の集積ごみの散乱を防止し、住環境の美化に努め、地域の環境保全ためには必要なものであると考える。ただし、本事業の終期を検討するうえでは、現状の把握が必要である。（ステーション数に対するごみネット等が設置されていない割合等）
	現状維持	
	コスト投入の方向性	事業開始から10年が経過している中で、財源としている基金は数年で底を付くことが見込まれていることを考えると、事業のあり方を含め、補助内容の見直し（補助割合の見直しや更新の場合の補助割合の見直し等）を行う時期にきていると考える。 また、見直しにあたっては、同様の補助金である「ごみ集積器具設置費補助金」を所管している環境対策課と協議を行う必要がある。
	縮小	